

水道事業施設整備計画

令和3年度改訂

(計画期間：令和4年度～令和13年度)

令和4年3月

大分市上下水道局

水道事業施設整備計画 令和3年度改訂

令和3年度改訂にかかる背景と目的

本市では、昭和61年に「第4次拡張事業」の当初認可を受け、昭和63年の大分川ダム建設にかかる基本計画の決定、平成17年の市町村合併などにより、第1回計画変更から4回にわたる変更届出を行い、直近では、給水人口の増加を要件として「第4次拡張事業第2回計画変更第1回届出（平成31年3月）」を実施している。また、「大分市水道事業長期基本計画」や「大分市水道事業総合計画」により、長期的な視点に立って各種事業の推進を図ってきた。

このようななか、市政運営の基本指針である「大分市総合計画」の個別計画として、将来にわたって安全な水を確保し、災害を想定した強靱な水道を構築するとともに、次の世代まで安定的に持続して供給できる水道事業運営を確立するため、平成27年3月に『大分市水道事業基本計画～大分市水道事業ビジョン』を策定している。

平成31年3月には、経営の健全化と経営基盤の強化による事業経営の持続を基本方針とした「大分市上下水道事業経営戦略」を策定し、中長期的な目標を設定した取組みの実現により経費縮減と料金・使用料の収入確保を図り、将来にわたり安心・安全で持続可能な上下水道事業の確立を目指している。

また、将来にわたり質の高い水道サービスを継続して提供するため、主要3浄水場や関連施設等の更新計画を確立し、各事業計画の適切な方向性を示す基本計画として、令和2年3月に「大分市主要浄水場等再構築基本計画」を策定した。今後は、再構築基本計画で示される長期・中期・短期で分類した具体的な取組み内容を本計画にも反映し、確実に実施していく必要がある。

これら背景とともに、現在抱える課題に的確に対応しつつ、限られた財源を有効に活用し効率的な整備計画を確立するため、「大分市水道事業基本計画」の具体的な推進計画として、『水道事業施設整備計画（本計画）』を策定してきた。本計画は行財政運営を総合的かつ計画的に執行するための根幹資料となることから、事業実績等をもとに計画を毎年検証するなかで必要に応じた見直しを行い、概算事業費を各年度の予算編成等にあわせて改訂する。

なお、本計画の計画期間は令和4年度から令和13年度までの10年間とする。

